



教会だより ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木と言われている。

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会

牧師 小林政和

八千代市大和田新田 94-77

Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925

Eメール: gpnng725@gmail.com

郵便振替: 00190-4-554373

今年のみ言葉「私たちすべてのために」

私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。(ローマ書8章32節)

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。
日曜日・午前10時30分・礼拝
水曜日・午後1時30分・祈禱会

「八千代キリスト教会創立29周年記念を思う」

牧師 小林 政和

1996年9月22日に当教会の第一回の礼拝が始まりました。それから29年経つのです。教会とは何でしょう。同じ聖霊様によって兄弟姉妹の心が一つになるところでしょうか。今ちょうど、新しいホームページを立ち上げようとしています。このホームページに写真をどのように掲載するかが問題になりました。連合のほとんどの教会のホームページは、もちろん本人の同意を得てからですが、ぼかししたりしないで、キャンプやクリスマス、イースターの記念写真等に、全員が映っています。写真に掲載する場合、どのように分け(線引き)するか、ホームページ制作者に聞いてみました。次のような答えでした。『私たちの線引きとしては、3つあります。』

① 子供が写っている場合

子供の顔が写っている場合はぼかしを入れるか、背中姿にするか、としています。

② 大人で、初めての方や受洗されていない方が写っている場合

初めての方が写っている場合は、掲載しないようにしています。受洗されていない方の場合は、長く教会にいて、本人が承諾するのであれば掲載してもよいが、それ以外は避ける。

③ 大人で、教会のメンバーの場合

本人がOKと言っているのであれば、掲載してよいと考えています。自分の顔写真の掲載をしたくないという人が写っている写真がありましたら、ぼかしを入れるか、写真を掲載しないのがよいと思います。』

以上の回答から私たちは、子どもの場合(ご両親が許可した場合以外)誰か分からないようにぼかすこと。未信者の場合、教会に来て間もない人の場合は顔を写らないように、最善の神経を使って配慮すべきです。教会に長年集っている教会員で、「八千代キリスト教会員」として信仰生活しようとする人に、当教会のホームページに映っていることに了解を取ります。「誰かに見られても、私は八千代キリスト教会に属することを良しとします。」と言う方です。バプテスマ式、転入会式の時に確認しましたが、皆に「八千代キリスト教会のメンバーでよろしいですか」ともう一度聞きます。集合写真に自分が映っていることに、はっきり自分と分かっている、それでも良いですか。ホームページに教会を紹介すると言っても建物や花等や、メンバーの顔の見える後姿だけを見せるのではなく、「教会の活動に真正面から参加し、私たちはホームページに掲載されても平気です」と言えますか。創立29周年記念を迎えました。主の導きを心から感謝します。29年経てやっと最近仲間意識が生まれてきました。『私は八千代キリスト教会の仲間です。私たちは生きるも死ぬのも、共に歩む主にある兄弟姉妹です』と言えるようになりたいものです。



9月16日(木) 野崎宅(龍ヶ崎市)

家庭集会

今回で10回目です。第1回は2年前の11月でした。野崎姉は今月、八千代市の京成バラ園に隣接するマンションに引っ越しました。次回からの集会は、この新居で行われることになります。

教会の花

(9/21 撮影)(下橋)



8月28日(木)「八千代キリスト教会ホームページ」作成打ち合わせ

ズーム打合せは、今回が最終となり、完成した形になり、皆様に見てもらえるようになりました。ホームページには、当教会の特色・歴史・行事(日曜礼拝、祈禱会、家庭集会)・アクセス案内・会員の紹介、毎週の日曜礼拝の動画、などが掲載されています。今後必要に応じて更新してゆきます。

9月21日(日)日曜礼拝

この日は八千代キリスト教会の創立記念日。もう29年になりました。簡単な昼食会を以てお祝いしました。来年の30周年には、記念祝会を予定しています。(下橋)



メンバー紹介 「教会創立29周年を迎えて」

境 幸子

私は30代の頃、近所の教会員宅の家庭集会に誘いを受け、1年程参加しました。その後教会に通うようになりました。しかしその後、3年ごとに2回教会を変わり、6年目に信徒不信感に陥り、1年間教会を離れました。7年目に友人の信徒から、再び教会生活の誘いを受けました。それが八千代キリスト教会との出会いです。初めは聖書の学びで小林牧師と友人、私の3人でスタートしました。その後細く、長く現在にいたって、29年を迎えました。6～7年までの私の信徒生活は、つまずきと試練にありましたが、それら乗り越えた暁には、主からの試練が大きな恵みに変えられるのです。つまり周囲に惑わされず、主を信じて主と自分との絆をしっかり保てば、主以外に恐れる事は何もないとの確信を持てたのです。そうすると何が生じて、主と共に在る事を覚えて、いつも平安な穏やかさが保てるのです。



当教会は小さな目立たない教会ですが、細く長く継続していることは、私の信徒生活をこのように大きな恵みに変え、存在させて頂いている事、また牧師を始め教会員の謙虚さと並みならぬ人助けに支えられています。この様な教会に、80代に至って、また今後の生涯を通していける事にとても平安を覚え、感謝しております。

教会及び連合のスケジュール(予定)

09月08日(月) 10:30東京地区牧師会、19:30東京地区連合委員会
09月16日(火) 龍ヶ崎(野崎姉)家庭集会
09月18日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
09月21日(日) 創立29周年記念
09月28日(日) ミルトス56号発行・発送
10月05日(日) 10月運営委員会
10月19日(日) 聖餐式
10月25日(日) ミルトス57号発行・発送
11月09日(日) 召天者合同記念会、ラザロ霊園墓前礼拝
11月13日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
11月23日(日) 大掃除(クリスマス飾付け)
11月30日(日) アドベント第一、ミルトス58号発行・発送
12月21日(日) クリスマス礼拝・祝会
12月24日(水) クリスマス・イブ礼拝
12月28日(日) 本年最後の礼拝、ミルトス59号発行・発送

祈って下さい

- 1)「バプテスト教会連合54教会の祈禱課題」が、み心にそって実現するように
- 2)横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
- 3) ロシア軍に侵攻されているウクライナに、平和が回復するように
- 4)イスラエルとパレスチナのハマスとの間に停戦合意ができ、イランとの間に戦争にならないように
- 5)三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
- 6)吉田照子姉は9月16日～10月25日カナダの家族に会いに行かれています。
- 7)洗礼を受けられた「八木明子」姉の信仰の成長のために
- 8)成田のグループ・ホームにいる安藤真大兄の健康と、衰える体力が回復できるリハビリが見つかりますように

3 分間講座

「唯一の女性士師 デボラ」

モーセの後を継いだヨシュアが先住民を制圧、約束の地カナンでイスラエル人が定住できるように導きました。しかし、新しいリーダーのもとで日々の生活が安定してくるにつれて民の心はゆがみ、自分たちが信仰する神を離れて他の神を崇める愚行に走ります。その結果他民族からの圧政に苦しみ、繰り返し神に救いを求め出します。その都度、神は士師を立てて人々を救ってきたのです(士師記2:18)。デボラは12人の士師のうちで唯一の女性です。ラビドテという男性の妻ですから華々しい武勲をあげた武将ではありません。天から靈感を受け、いつも山の上にあるナツメやしの木の下に座り、山に登って悩みを訴える人々に地道に神の言葉で励まし、導いてきた人です(士師記4:5)。

ある日そのデボラに神の御言葉が降ります。司令官のバラクに、1万の兵を集めて、カナンを支配する敵兵がいるタボル山を攻めよというものです。バラクは強力な装備を持つ敵兵との戦いに不安を感じ、デボラと一緒に行動するよう条件を出します。デボラの神への信頼は揺るぎません。神は必ず助けてくれることを承知しており、バラクと共に戦います。戦闘中に大雨が降り洪水のため敵の戦車が身動きできなくなる幸運もあり、イスラエル軍は勝利して、20年にわたるカナンの王ヤビンの支配から解放されました。神の導きのもとデボラの適切な状況判断、決断が勝利に結びついたのです。敗れた敵将シセラは、逃げ込んだ味方のヘベルの天幕でその妻ヤエルによって頭に杭を打たれて命を落とし、シセラの死を見たバラクとデボラは勝利の歌を唄いました(デボラの歌:士師記第5章)。その後40年間、人々は戒めを守り平穏な時代を過ごすことができたのです。デボラの歌とは、神への賛美と神が導いた勝利に感謝する歌です。(池田)



「デボラの歌」ナルシス＝ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ベニャ作 1852 年

編集後記: 彼岸が過ぎやっと秋らしい朝晩になりました。猛暑が続いたこの夏は、異常な暑さだけでなく、感染症でもおかしな状態です。インフルエンザやコロナウイルスが季節を問わずに発症しています。暑さで体力が落ちています。十分な注意をしましょう。当教会では、基本通りの対策として換気。各個人としては、手洗い・消毒・マスクなどで配慮しましょう(下橋)